



彩湖自然学習センター

Vol.4 2002.6

彩湖

だより

SAIKO

気づかながったものも
見えてくる

今季はポカポカ陽気により桜前線縦断が最も早いゴールとなった。早かった1990年より4日短縮。福岡など1日遅い3月15日、根室など3日早い5月8日が開花日となった。当センター観察池とその周辺では、絶滅の恐れのある動植物を育てています。池の木道を歩いている人の様子も、ひたすら歩く人、動植物をよく観察する人、写真など記録する人など様々です。池の隣には、移植したばかりのクヌギが芽吹き始め、数十年後のカストムシの飛び交う林を……夢見ています。



晩秋の気温の高い夜、草むらで「ジーン」と単調な声で鳴く虫がいます。その名をクビキリギスといい、キリギリス科に属します。

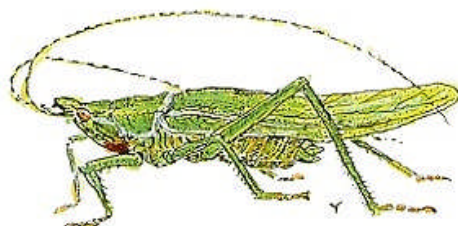
体長は6 cmぐらいで、体色は緑色、淡い褐色、ピンク色の3系統に分けられます。頭はとがり口は紅色をしています。

6月頃に卵から孵り晩秋に成虫となり冬を越します。春になって暖かい日が続くと鳴き始めます。キリギリスの仲間の多くは秋に鳴きますが、クビキリギスは春から夏にかけて鳴く大変珍しい種類なのです。

今年は春から気温が高かったので彩湖周辺では4月2日に、この虫の鳴き声を聞きました。この虫を捜しに彩湖周辺を歩きましたが、5月になってやっと御対面。その姿は葉にへばりつき、足をいっぱい伸ばし、顔を葉につけ、ヨシの葉に変身していました。まさに草原の「忍者」といえます。

クビキリギス

キリギリス科



ジャコウアゲハ

アゲハチョウ科



ウマノスズクサ

荒川の草原で花から花へ蜜を吸っているはねが褐色で尾の長いチョウが目にとまりました。近づいてみると「ジャコウアゲハ」です。戸田市内では今までに生息が確認されていなかったチョウです。

ジャコウアゲハは堤防を渡るそよ風によって低くゆったり飛んでいます。可憐で美しい姿のチョウです。昔の人は、このチョウを「山女郎」とよび親しんでいました。この名は、オスがジャコウのような芳香を出すことから付けられました。オスとメスでは、はねの色が異なり、オスは黒色でメスは淡い褐色をしています。後ばねには橙色の半月紋があり体のわきに赤い紋が並んでいます。日本にいるアゲハチョウとは異なり、いかにも南方系のチョウであることを感じさせます。

県内では4月下旬から姿を現わし9月までみられます。

幼虫はウマノスズクサという野草を食べます。この草は堤防や雑木林の林縁などの明るいところに生えます。幼虫は濃い褐色で斜めに白い帯があり、他のアゲハチョウの幼虫と違い最後まで緑色にならないのです。幼虫はいつも葉の裏側に止まり、葉の表に出ることはありません。

さなぎは美しい黄褐色でつやがあり、背中には紅色の斑点があって人の顔のように見えるので、古くは「お菊虫」と呼ばれていました。

このチョウは他のアゲハチョウの仲間と異なり幼虫の体色、食草、習性などからみて原始的な特徴をもっています。

ジャコウアゲハの分布はウマノスズクサの分布と一致するのです。埼玉県版レッドデータブックで希少種として扱われ、大切に保護したいチョウのひとつです。

◆豊かな心をはぐくむ自然体験活動

次代を担う子ども達に自然とのふれあいを

彩湖自然学習センターでは、多くの子ども達が来館し、周辺に広がる草原や観察池において野生の生き物とのふれあいを楽しむ自然体験活動が展開されています。

平成13年度に理科や生活科、総合的な学習の時間などの授業として来館し、自然体験活動や調査活動に取り組んだ学校は以下の通りです。

小学校	のべ44校	4,742名
中学校	のべ25校	594名
大学	1校	22名
総計	のべ70校	5,358名

虫を捕まえたり、ザリガニを釣ったり、草花や野鳥の観察などの自然体験活動を楽しんでいます。子どもたちは、生きものとのふれあいを五感をとおして楽しみ、驚き、感動しながら、生きものの営みや自然の在り方を学び、豊かな心を育てています。

日常生活の中で、生きものと触れ合う機会が少なくなっていると言われていた子ども達にとって、センターにおける授業は貴重な体験の場となっています。

これからも、より多くの子が心豊かに成長することを願い、自然との感動的な出会いを与える大切な役割を果たしていきたいと考えています。



彩湖自然学習センター講座

土・日曜は自然の中での活動を!

羽根のしおりづくり

こども自然クラス

冬鳥たちの観察をしながら、鳥の羽根を探しました。自然保全ゾーンでは、スズメが食べられた跡を発見!自然界の食うか食われるかの厳しい世界垣間見ることができました。センターに戻ってからは、日付、採集場所などを記録しながら拾った羽根をしおりにしました。とても良い記念になったと子ども達は大喜びでした。



野の花であそぼう

こども自然観察教室



タンポポ、シロツメクサ、アカツメクサなどを摘みに原っぱに出ました。温かい春の日差しに包まれながら、首飾りやめがねをつくったり、シャボン玉を飛ばしたりと楽しい時間を過ごしました。細かい作業に手こずっている子もいましたが、そのぶ

ん完成した喜びは大きく満面の笑みを浮かべていました。

彩湖周辺の野鳥 ~春~

野鳥観察会

子どもから大人まで、初心者から上級者までたくさんの方が野鳥との出会いを楽しんでいます。今回は、群をなしているオオバンやオオジュリンなどをとても近くで、その表情や足の動きなど細かな部分までもじっくりと観察することができ、参加者みな大喜び、北の地へと旅立つ冬鳥たちとのしほしの別れもしました。



彩湖周辺散策

彩湖自然学習センターの裏(北側)に広大な自然地があります。中央を通る遊歩道の両側には草原が広がり、いろいろな植物が生え、バッタ類を主にたくさんの昆虫やヒバリなどの野鳥が生息しています。

「あっ、この花きれい、花びらが4枚ある。こっちは3枚ある。何と言う植物かな?」「トノサマバッタを捕まえた!」などと子供たちの元気な声が飛び交い、自然に触れ、親しみ、感動を得る自然観察や体験学習の貴重な場となっています。

この冬、約半分の面積が2回にわたる野火によって消失しました。焼け跡を調査したところ、以前はヨシやオギが密生していて、人が容易に踏み込めなかった場所にタヌキの巣穴を発見しました。

この自然地の地下には荒川左岸南部下水処理場から放流された処理水の一部を更にきれいにする河川浄化施設が設置されています。

〈河川浄化施設〉

中には礫が詰められ、その間を処理水が流れるときに自然界で行われている河川自浄作用と同じ方法で、バクテリアの働きによって浄化され、荒川の水質とほとんど同じ程度になった水を秋ヶ瀬取水堰より下流の荒川に放流しています。

その結果、堰上では下側で放流された水の量と同じ量の水道水を取水することが可能になります。

ここは、荒川の水量調節、水質安全を図りながら水の再利用を行っているところです。



▶ 彩湖から見える山々



彩湖、そこは水と緑のオープンスペース。湖面には色とりどりのウィンドサーフィンが浮かび、グラウンドではスポーツに汗を流す人々の歓声が聞こえます。広場や公園では子供たちが時を忘れて思い出を心に刻んでいます。年間利用者数は推計で約80万人にもものほります。

こう言ってしまうと、「彩湖=人のアメニティー空間」と聞こえそうですが、彩湖は人間以外の生き物たちにとっても大切な空間なのです。湖面には水鳥たちが憩い、草むらにはキツネやタヌキなどが生活し、まわりの小さなビオトープ池には湿地性の植物が群生し、生き物たちの小さな世界が形づくられているのです。

お子さま連れの方は、彩湖にいらした時に自然との付き合い方をお子さんに教えてあげてください。自然への安全なアプローチの仕方を。自然の素晴らしさを。大人の方には懐かしい、お子さんには初めての、小さな感動があるはずです。人と自然の共生を目指している彩湖で、小さな小さな命の鼓動を感じてみませんか？

もよおしのご案内

- **自然観察会** (一般・親子対象)
～彩湖周辺の植物・昆虫等の観察会～
・7月28日(日)・8月25日(日)・9月8日(日)・10月20日(日)
・12月15日(日)・(2003年)1月5日(日)
- **野鳥観察会** (一般・親子対象)
～彩湖周辺の野鳥を観察する～
・11月10日(日)・12月8日(日)・(2003年)1月19日(日)
・2月23日(日)・3月23日(日)
- **こども自然観察教室** (小・中学生対象)
～彩湖周辺の植物・昆虫等の観察会～
・6月29日(土)・8月24日(土)・10月19日(土)・11月16日(土)
・(2003年)3月22日(土)
- **こども自然クラス** (小・中学生対象)
～継続して自然体験・奉仕的活動を行う～
・6月22日(土)・7月27日(土)・9月7日(土)・11月9日(土)
・(2003年)1月25日(土)・2月22日(土)
- **生きものを育てよう** (一般・親子対象)
・6月23日(日)・7月7日(日)
- **彩湖オリエンテーリング** (一般・親子対象)
・10月6日(日)

※開催日・内容等変更する場合がありますので、電話にてご確認ください。

彩湖自然学習センター

〒335-0031 埼玉県戸田市大字内谷2887番地
TEL 048-422-9991 FAX 048-422-9993
URL <http://www.toda-c.ed.jp/saiko> E-mail saiko@toda-c.ed.jp

・この彩湖館よりは情報にやさしい再生紙を使用しています。

ご利用案内

- **開館時間** / 午前10時から午後4時30分まで
- **休館日** / 毎週月曜日(休日を除く)
休日の翌日(土曜日・日曜日・休日を除く)
館内整理日(毎月末日)(土曜日・日曜日・休日を除く)
12月28日から翌年の1月4日まで
- **入館無料**

交通案内

- **お車ご利用の場合**
 - ・東京外環自動車道 戸田西ICより約0.5km
 - ・新大宮バイパス 美女木交差点より約1km※彩湖・道南グリーンパーク南駐車場(500台収容)から徒歩3分
- **電車ご利用の場合**
 - ・JR北戸田駅から下笹目経由西川口駅行きバス
 - ・JR西川口駅西口から下笹目経由北戸田駅行きバス
 - ・JR南浦和駅西口から武蔵浦和駅経由下笹目行きバス
 - ・東武東上線成増駅北口から戸田車庫行きバス※いずれのバスも「修行日」バス停下車徒歩8分

